

平成30年5月7日 公告

東中本小学校外2校情報設備工事
設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認下さい。

正誤表

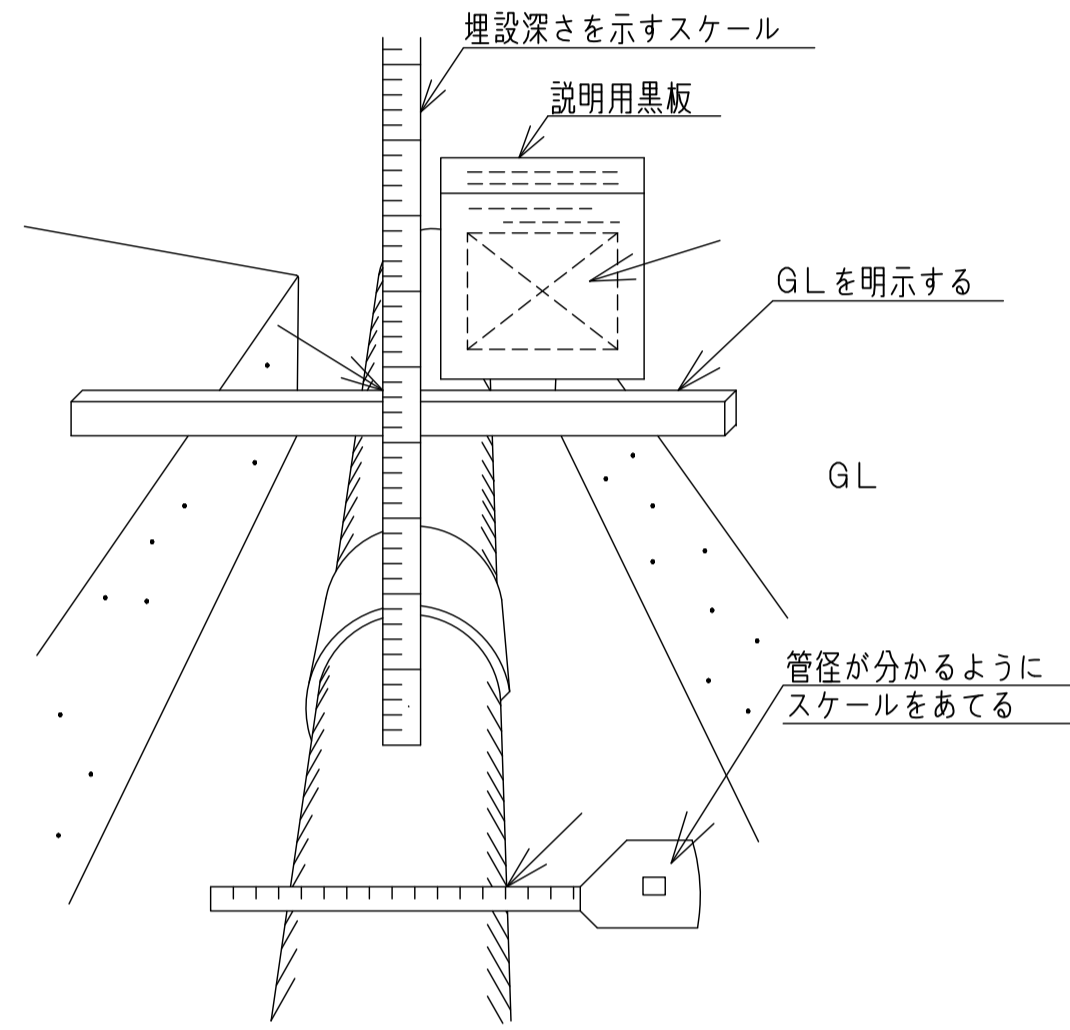
訂正箇所	誤	正
図面No. 4 一般事項の一部修正	3	2
図面No. 6 配置図の一部修正	S.47	消去

＜ 撮影例 ＞

(工事名称) 工事名 ○○学校新築電気設備工事 (省略せず、正確に書くこと) (撮影場所) 1階管理作業員室前(東側)	(文字で表現しづらい場合は、簡略な位置図を添えるなどすること)
(被写体の説明) □□用地中埋設管 FEP80	

【付図1. 黒板記入例】

(注) 埋設深さが明確に判断できるようにスケールをあてること。-



(←部分が明確に読みとれるように撮影する。)

【付図2. 埋設配管撮影要領】

平成 ○○学校新築 電気設備工事	発注年度	平成○○年度
工事場所(地名) 受注者	工事名称	○○学校新築電気設備工事
	大阪府北中之島 ○○○○	

表紙

背表紙部分
(作成したアルバムが
薄い場合は省略できる。)

【付図3. アルバム表紙記入例】

- 災害時の撮影 (1) 工事現場で災害、事故が発生した場合は、早急に被害状況を撮影し、速やかに監督職員に報告する。
(① 1. 3. 7)
(② 1. 3. 8)
- 写真の整理 (1) 撮影したフィルムは、速やかに現像、焼付を行う。焼付サイズは、83×117mm以上とする。
(2) 写真は、PPC用紙など再生処理できる用紙(A4サイズ)に印刷し、1部作成する。また、必要に応じて説明書を添付しておく。
(印刷紙を使用する場合はカラーコピーをとること)
(3) デジタルカメラで撮影した場合は、83×117mm以上のサイズでアルバム整理したものを提出する。
(4) アルバムの表紙には、工事名称を記入し、背表紙には完成年度、工事名称を明記する。(付図3参照)
(5) 整理した写真は、監督職員が指示する時期に提出する。

アスベスト含有建材の処理(撤去含む)は、国土交通省大臣官房官庁官廳部監修の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版によるほか、以下のとおりとする。

項目	特記事項																																																																					
一般事項	<p>別途図中に指示のない場合は以下による。</p> <p>1. 建材中のアスベスト含有調査(施工調査)</p> <p>○ 不要 ◎ 要</p> <p>当該工事にかかるアスベスト含有建材の有無について、現地調査による目視確認等を実施する。確認の結果、使用の有無が不明の場合は下表の分析による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所・材料名</th> <th>調査方法・箇所数</th> <th>箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東中本小学校</td> <td>◎ 定性分析 (2)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 (1)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>大成小学校</td> <td>◎ 定性分析 (1)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 (1)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>中道小学校</td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎ 定性分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 定量分析 ()</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>分析は厚生労働省通達H26.3.31付基安発0331 第31号「建材中の石綿含有率分析方法について」に基づく分析を行う。</p> <p>2. アスベスト撤去処分</p> <p>○ 不要 ◎ 要(下表による。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤去材</th> <th>撤去範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外表仕上材</td> <td>大成小学校 『アンカー施工及びダイヤ貫通の処理』参照</td> </tr> <tr> <td>成形板</td> <td>東中本小学校 東校舎 『アスベスト含有成形板の撤去』参照</td> </tr> </tbody> </table>	場所・材料名	調査方法・箇所数	箇所	東中本小学校	◎ 定性分析 (2)	箇所		○ 定量分析 (1)	箇所	大成小学校	◎ 定性分析 (1)	箇所		○ 定量分析 (1)	箇所	中道小学校	◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所		◎ 定性分析 ()	箇所		○ 定量分析 ()	箇所	撤去材	撤去範囲	外表仕上材	大成小学校 『アンカー施工及びダイヤ貫通の処理』参照	成形板	東中本小学校 東校舎 『アスベスト含有成形板の撤去』参照
場所・材料名	調査方法・箇所数	箇所																																																																				
東中本小学校	◎ 定性分析 (2)	箇所																																																																				
	○ 定量分析 (1)	箇所																																																																				
大成小学校	◎ 定性分析 (1)	箇所																																																																				
	○ 定量分析 (1)	箇所																																																																				
中道小学校	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
	◎ 定性分析 ()	箇所																																																																				
	○ 定量分析 ()	箇所																																																																				
撤去材	撤去範囲																																																																					
外表仕上材	大成小学校 『アンカー施工及びダイヤ貫通の処理』参照																																																																					
成形板	東中本小学校 東校舎 『アスベスト含有成形板の撤去』参照																																																																					
除去工事 共通事項	<p>調査結果の揭示</p> <p>アスベスト含有の有無について調査した結果は、作業開始までに「石綿[※]」に関する事前調査の結果を現場に掲示する。なお、平成18年9月1日以後に新築等されたアスベスト含有建材の使用のないことが明らかなら解体等(解体、改造、改修を伴う)工事であっても、建築物等の敷地内の公衆の見やすい場所にアスベスト含有建材の使用が無いことを掲示する。 [※]様式は大阪府環境局ホームページを参照する。</p>																																																																					
アスベスト含有成形板の撤去	<p>1. 撤去作業者は、防じんマスク、保護メガネ及び作業衣を着用する。</p> <p>2. 建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇等粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。</p> <p>3. 撤去作業後、アスベスト含有成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。</p> <p>4. 処分先</p> <p>アスベスト含有せつこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理型最終処分場で埋立処分 アスベスト含有せつこうボード以外 石綿含有産業廃棄物として安定型最終処分場で埋立処分 設置許可溶解処分場で溶解処理 認定無害化処理施設で無害化処理 																																																																					
アンカー施工及びダイヤ貫通の処理	<p>1. 既設建物の外壁等に施工されている仕上げ塗材にはアスベストが含有されている恐れがあるため、以下のとおり処理を行うこと。</p> <p>(1) 外壁等に仕上げ塗材が施工されている場所に、アンカー設置またはダイヤ貫通を行う場合は、無じん水を散布(噴霧)し、湿潤化を行い、飛散させないようにカッターナイフ・スクレーパー等で仕上げ塗材及び下地材を除去の上、作業を行うこと。</p> <p>(2) 除去跡については固化剤噴霧や接着剤塗布等の飛散防止措置を講ずること。</p> <p>(3) 除去を行った仕上げ塗材及び下地材は、特別管理産業廃棄物(塵石綿)として適切に処分を行うこと。</p> <p>2. 作業者は防塵マスク、保護メガネ及び作業衣を着用すること。</p>																																																																					

改訂年月	平成27年 6月
改訂年月	平成29年 4月
改訂年月	平成29年 8月

工事名称	東中本小学校外2校情報設備工事	平成29年度
図面名称	通信・情報設備工事 特記仕様書(3)	図面サイズ:A1
総 尺	-	図面番号 No. 4 (23枚の内)
大阪府都市整備局 公共建築部企画設計課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 日本設備総合研究所

工 事 概 要

施設名称 東中本小学校

所在地 東成区東中本2-9-3

電話番号 6971-0048

工事内容 本工事は、情報設備工事を行う。

一 般 事 項

1. 本工事は、学校運営中の工事であり、学校授業、諸行事により作業時間、作業場所、工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側と十分な打合せのうえ施工すること。
2. 別契約の関連する工事については、施工時期及び施工の取合い等は、別途契約業者と十分な打合せを行うこと。
3. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議すること。
4. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
5. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は、速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
6. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
7. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
8. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は現状に復旧すること。
9. 別途発注機関等による、他業者の請負工事と本工事に工事期間が重複する場合には、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。
10. 工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校利用者等の安全について十分に注意のこと。尚、車両入場において、学校周辺道路の規制等を順守し、関係法令・法規による手続きが必要な場合は、速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。

工事期間中に施設利用者が使用する範囲での施工について（注意事項）

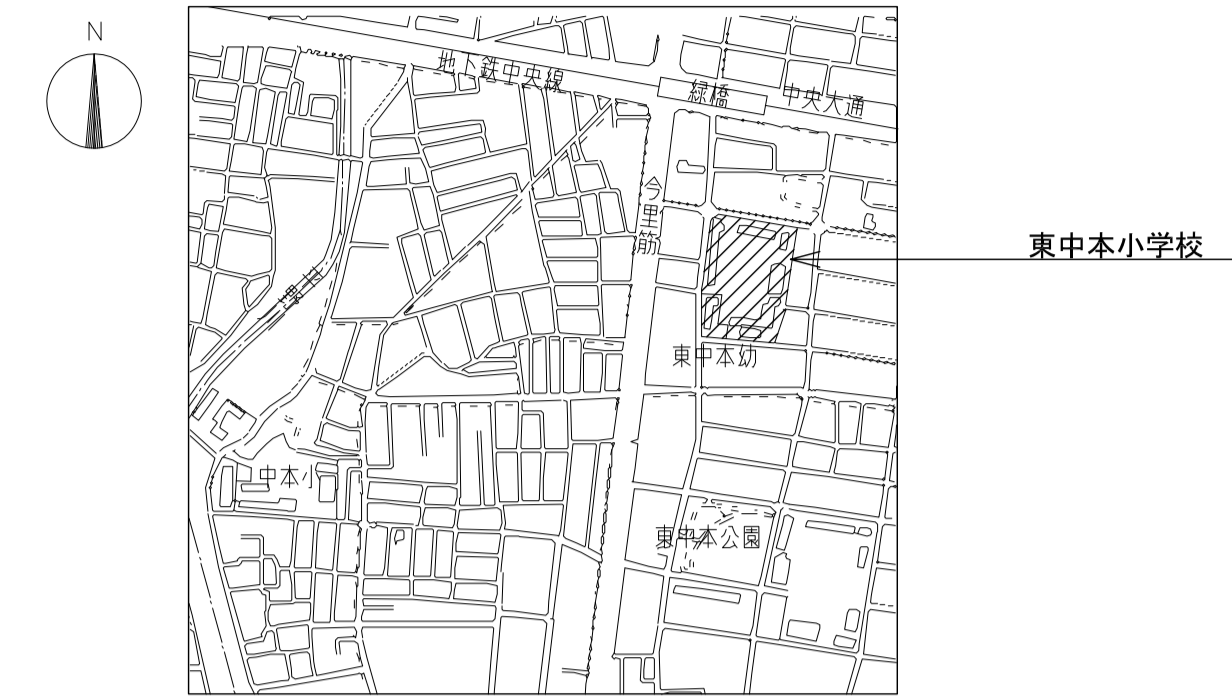
使用中の施設で夜間や休日に施工する場合など、工事範囲と工事期間中に施設利用者が使用する範囲が重なる工事においては、特に安全管理の徹底を図り、以下のような点について留意すること。

1. 高所や天井などに取り付ける資機材については落下の危険性に特に注意すること。
2. 仮囲いなどは容易に開閉ができないようにすること。
3. 作業終了後には、工具や資機材を施設利用者が使用する範囲内に残置しないこと。また、機器、配線、配管等を仮止めや半固定の状態に残置しないこと。

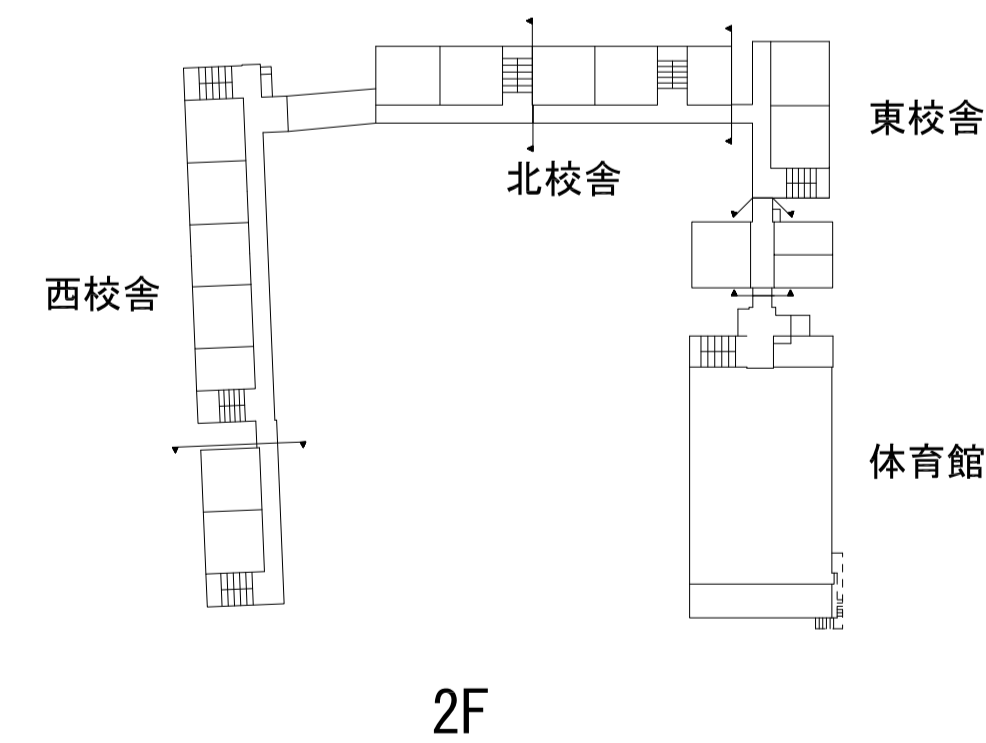
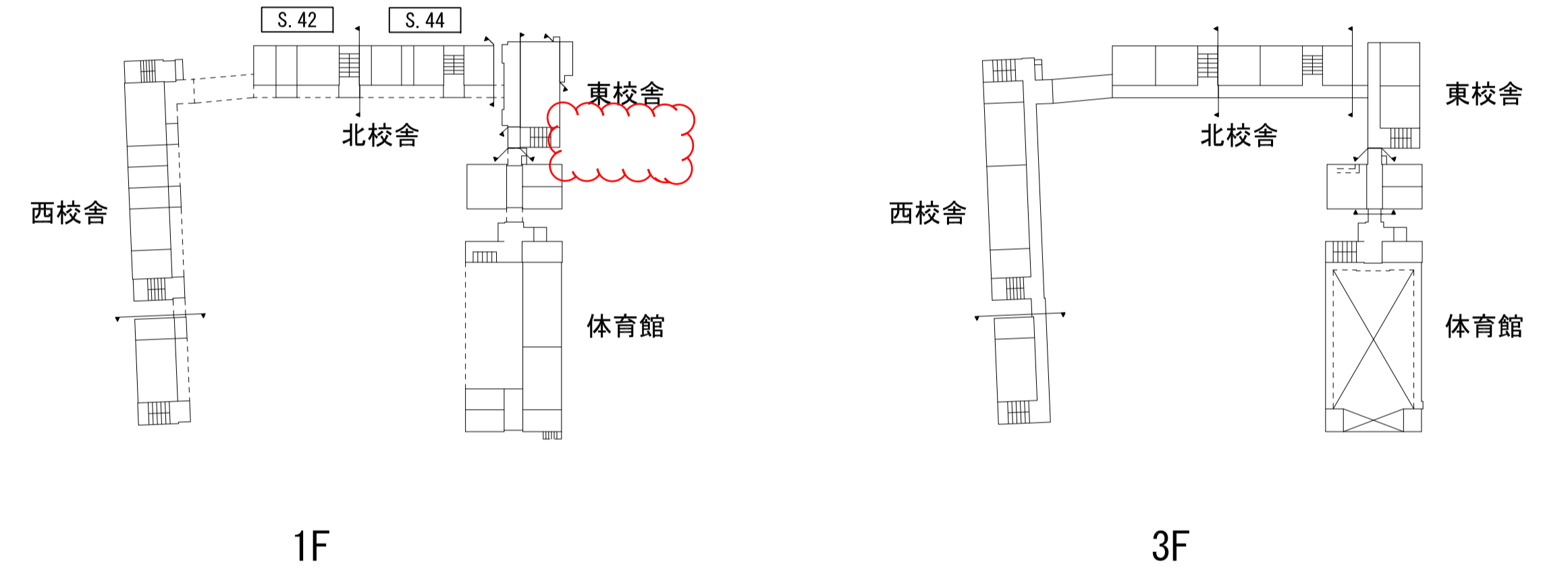
特 記 事 項

1. アスベスト調査を行う（建設年度が昭和年代の校舎）
2. 本工事は主に学校の夏休み時期の工事とし、それ以外の時期の工事は学校との協議による。

付 近 見 取 図



配 置 図



注記.

☐は、校舎の建設年度（昭和）を表し、天井仕上げ材等のアスベスト含有調査を行う建物を示す。

東中本小学校

工事名称	東中本小学校外2校情報設備工事	平成 29 年度
図面名称	工事概要、工事内容、付近見取図、配置図	図面サイズ：A1
縮 尺	-	図面番号 No. 6 (23 枚の内)
大阪市都市整備局 公共建築部企画設計課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 日本設備総合研究所